

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		子どもの読書活動推進					所管	教育委員会 中央図書館	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	57	計画事業名	子供の読書活動推進			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 9 生涯学習環境の整備					[事業開始] 昭和37年度 [終了予定] - 年度		
	根拠法令等	その他	[法令等名]	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、東京都台東区生涯学習センター条例及び同施行規則、東京都台東区立図書館館則					
	事業対象	直接の対象 : 子供(概ね18歳以下の者)及びその保護者 最終的な対象 : 子供(概ね18歳以下の者)							
	事業目的	子供の読書活動を推進し、子供が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を育むこと。							
	事業内容 [H30年度]	○「あかちゃんえほんタイム」「おはなし会」「人形劇」「映画会」等の子供向け事業を実施する。 ○学校等との連携を進めることで活性化を図り、より総合的・計画的に子供の読書環境を整える。 図書館見学・訪問おはなし会・ブックトーク等 団体貸出冊数(子供向け)7,882冊(前年比+759冊) ○子供用パンフレットによる読書啓発や、読み聞かせ等ボランティアの養成・支援を行う。							
	委託の有無	一部委託	委託内容	人形劇開催委託、児童用貸出袋作成委託など					
	補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	おはなし会等行事回数	回	320	319	315	310	320	96.9%
		パンフレット作成部数	部	24,000	27,500	27,500	24,000	30,000	80.0%
	成果指標	こどもとしよしつ貸出数	冊	390,000	385,539	378,759	395,913	360,000	110.0%
		こどもとしよしつ入館者数	人	200,000	195,150	193,308	192,693	200,000	96.3%
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			4,099		3,222		3,615
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			22,462		20,217		22,041
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			4,000		3,123		3,516
		総経費			99		99		99
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			26,561		23,439		25,656
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0		
一般財源(区負担額)			0		0		0		
課題及び今後の進め方	令和元年度には、「第四期子供読書活動推進計画」の策定を予定しており、子供の読書活動のさらなる推進に向け、子供がより読書に親しむための取組や、読書活動を支援する取組を実施していく。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	子供の読書活動は、子供が、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で重要であり、ニーズに大きな変化はない。						
	効率性	3	人形劇などの費用を要するイベントだけでなく、職員の創意工夫による特集の実施など、様々な手段で読書啓発を進めている。						
	手段の適切性	3	学校・保育園・幼稚園・子ども家庭支援センター・保健所等の関係部署とも連携しながら、啓発活動を行っている。						
目的達成度	3	各館での特集やおはなし会、リーフレット配付等を通して、積極的に本を紹介したことで、こどもとしよしつ貸出数の目標値を上回った。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
各事業の実施や啓発等により、こどもとしよしつ貸出数が増加した。しかし、入館者数は微減となっているため、今後も、図書館への来館意欲の向上を目的とした事業・特集等を継続的に実施する。また、調べ学習支援として、需要の高いテーマの団体貸出セット作成など、学校等との連携・支援の充実を図る。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	